INOVATIONAL VILLAGE

現代の住宅において、血縁以外のコミュニティに帰属している例は稀有である。
ただ「住む」という行為のためだけに建築が存在し、コミュニティが希薄化しているのだ。
本設計では多世代、多様な家族がコミュニティレベルで交じり合って住むことのできるモデルを提案した。
さらに、住宅以外の機能も兼ね備えることにより、サスティナブルな内容となっている。
住民同士、地域の人同士など、複雑な関係性が構築された暁には、このまちにイノベーションが起こっていることだろう。

village エントランス

軒下の庇空間

鳥瞰図

白潟天満宮の参道から

居室

中央の広場

共有リビング

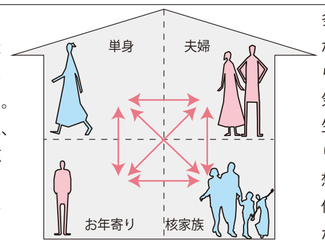
窓からの風景

1階平面図

Site

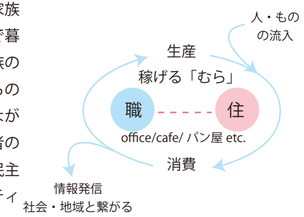
松江市天神町。
隣接する白潟天満宮は昔より人々に慣れ親しまれている神社である。敷地を一体として考え、参道の先をこの中心広場にすることで、まちのコミュニティスペースのコアができる。

様々な関係性～イノベーションを！～



多世代、多様な家族が同じ屋根の下で暮らす。ほかの家族の気配を感じながらの生活は様々なつながりを生み、設計者の想像を超えた住民主体のアクティビティが行われる。

循環する「むら」～職住近接～



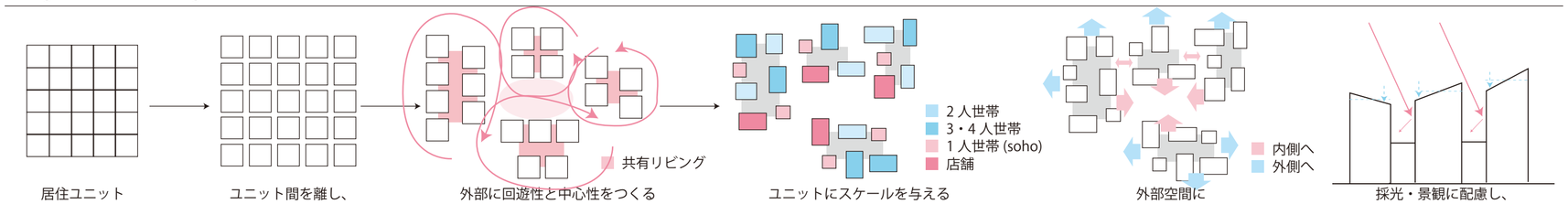
職住近接によって、まちの機能をこの「むら」に集約する。コンパクトに設計された循環型の集合住宅はまちの人たちにとっても魅力的な場所となり、さびれつつあるまちの活性化につながる。

楽しい未来

多世代の様々な人が集い、絡み合うこの住居では、古めかしいものと同時に新しい" 何か" が常にあふれている。それらは人々の好奇心をくすぐり、楽しみに満ちた生活をおくることができる。無限の可能性を秘めた子ども、これから新しいチャレンジを試みる大人にとってイノベーションを起こしやすい環境である。

外観

Diagrams and Zoning



居住ユニット

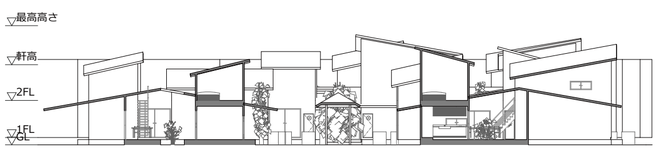
ユニット間を離し、空間を生む

外部に回遊性と中心性をつくる
内部に common スペースをつくる

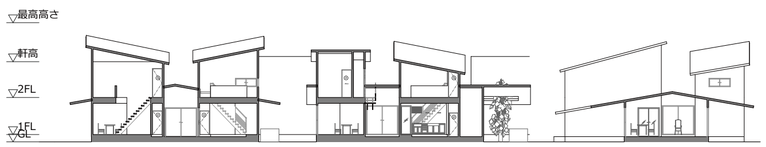
ユニットにスケールを与える
内外部に有機的な空間が生まれる

外部空間に
流れ・関係性が生まれる

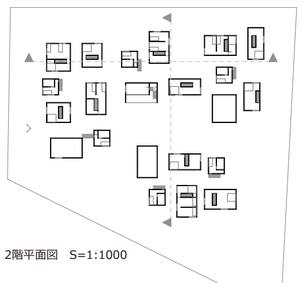
採光・景観に配慮し、
屋根形状を変化させた



A-A' 断面図　S=1:500



B-B'断面図 S=1:500



2階平面図　S=1:1000

配置図　S=1:2000